

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

先週末のドルレアルスポット相場は、予想よりも強い米3月雇用統計を受けて、一時3.62台前半までドル買いレアル売りが加速する場面も見られたが、ペトロプラスの汚職事件に関連し、与党・労働者党(PT)の元幹部が当局に拘束されたことを背景に、引けにかけては反転。3.55台前半で取引を終えた。ボベスパ指数も前日比1%高と堅調な動きを示した。公表された米3月雇用統計では、非農業部門雇用者数が前月比21.5万人増となり、雇用の増加トレンドが続いていることが示された。一方、失業率は5.0%と前月の4.9%から僅かながら上昇した他、平均時給も前年比2.3%増と依然として低い水準に留まっており、賃金インフレの加速は確認できていない(なお、前月比では2月の0.1%減から0.3%増へ、改善が見られた)。追加利上げに向けて全体としては相応に良好な数字であったと言えるが、直近のイエレンFRB議長のハト派発言を踏まえると、雇用統計を材料に積極的なドル買い相場になるとは言い難い。

ブラジル中銀が31日に公表した四半期インフレ報告では、今年と来年の物価上昇率見通しが引き上げられた。ブラジル経済は足許で深刻な景気後退に陥っているものの、中銀が早期利下げに動くつもりはないことが示唆された形。最新の見通しは、今年が6.6%(従来は6.2%)、来年は4.9%(同4.8%)。中銀によると、インフレ率が目標中心値である4.5%に収まるのは、2018年第1四半期と想定されている。

マーケットデータ

Indicator		Unit	3月31日	4月1日	前日比	3月1日	1ヶ月前比
レアル	対ドル	BRL	3,5922	3,5538	-0,0384	3,9341	-0,3803
	対円	JPY	31,34	31,43	+0,09	29,03	+2,40
	対ユーロ	BRL	4,0883	4,0482	-0,0401	4,2755	-0,2273
円	対ドル	JPY	112,57	111,69	-0,8800	114,01	-2,3200
	対ユーロ	JPY	128,11	127,21	-0,90	123,90	+3,31
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index		50.055	50.562	+507	44.122	+6.440
CDS Brazil 5yrs (クレジット・フルストップ)	bps		365,7	363,9	-1,8	450,2	-86,3
Brazil 10yrs Gov. Bond	%		13,97	13,79	-0,18	15,85	-2,06
DI Future Apr17 (金利先物)	%		13,80	13,65	-0,15	14,05	-0,40
3 Months US Dollar Libor	%		0,629	0,629	+0,000	0,632	-0,003
CRB Index (国際商品指数)	Index		170,5	168,0	-2,5	163,9	+4,1

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

